

ひろがる!つながる! 淡路島日本遺産



Vol. **11**

文化庁に認定された淡路島日本遺産。丸7年を迎え、新たな展開を迎えています!

淡路島日本遺産に関するアンケートを実施しています。

2016年の認定から約7年が経つ淡路島日本遺産。サポータークラブの発足、小中学生への小冊子配布、スマホRPGの完成、漫画ワールドカップの開催など、さまざまな取り組みを実施する中で、淡路島日本遺産への島民の皆さまからのご興味を測るアンケートを実施することになりました。(募集期間: 配布時~2023年4月末)

こちらにアクセス



活動報告

Report

2015年に発見された松帆銅鐸が、遂に南あわじ市に帰ってきた7点が勢ぞろい&県の重要有形文化財に! 松帆銅鐸にビッグニュースがいっぱい!

2022年に構成文化財である松帆銅鐸が、2015年に発見されてから初めて、南あわじ市滝川記念美術館・玉青館に勢ぞろいしました。それを記念した、新たなポスターやチラシが完成。プロのカメラマンに撮影・デザインを依頼した、松帆銅鐸の謎やロマンが感じられるような広報ツールは、淡路島内の宿泊・観光施設に配布。多くの観光客の目を楽しませています。



2000年の時を経た松帆銅鐸の価値

内部の植物のかけらが謎解きの鍵に

7点が一括で発見された銅鐸の歴史上最も古い埋納(土に埋めた)例であり、内部にあった植物の欠片から埋納時期が明らかになっています。



2000年前の使われ方も明らかに

銅鐸や舌(ぜつ)も発見され、弥生時代の紀元前4世紀から紀元前3世紀までの最古級の島根県の荒神谷銅鐸と同類の特徴も。入れ子状態での発見も珍しく、また舌や紐から当時使われていた状況も明らかになりました。

松帆銅鐸が重要有形文化財に!

兵庫県が誇る歴史遺産に!

兵庫県教育委員会は、南あわじ市で2015年に発見された松帆銅鐸など、新たに7件を重要有形文化財に指定すると発表。これは、松帆銅鐸の価値を兵庫県が後世に伝えていこうという意味もあり、淡路島日本遺産にとって、歴史的な快挙となりました。



活動報告

Report

淡路島を中心とした日本の歴史・文化を題材にした漫画作品の世界大会『第3回 全国くにおみ漫画ワールドカップ』表彰式を開催!珠玉のグランプリ作品も紹介!

第3回目を迎える淡路島日本遺産をテーマにした全国的な漫画作品の大会が今年も開催されました。今年度のテーマは「御食国」。国内のみならず海外からも応募があり、表彰式には、受賞された全国の受賞者が淡路島に集まりました。

募集期間: 令和4年7月1日(金)~11月30日(水)
表彰式: 令和5年2月26日(日)
場所: HELLO KITTY SHOWBOX



淡路島の島内の会場を舞台に、厳かな空気の中で催された授賞式で一人ひとりに手渡された表彰状の授与。賞に選ばれた作家たちの誇らしい笑顔が印象的でした。



厳正な審査を担当した審査員の先生たち、表彰式のために遠方から駆けつけた作家の皆さんとの集合写真をバシャリ。一生の思い出に残る一枚です。

淡路島部門「御食国」グランプリ作品

そのほかの受賞作品は、右のQRコードからご覧になれます。▶▶



大人 漫画部門

淡路の白波

作者: ghana



大人 イラスト部門

御食国の幸

作者: 水菊じむ



子ども イラスト部門

淡路島うまいもんレンジャー

作者: 岩尾風紗

ニュース

News

淡路島日本遺産RPG、新エピソードも大好評配信中!

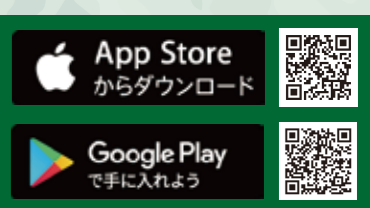
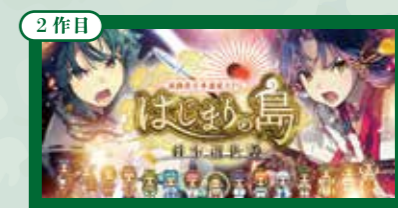
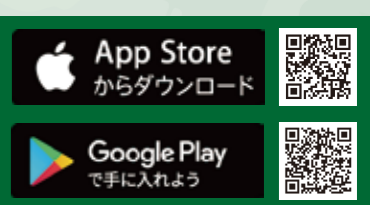
RPGを通じて、幅広い世代に淡路島に色濃く残る「国生み神話」をより深く知ってもらいたいとして誕生したスマホRPG「はじまりの島」。前作に続き、第2弾となる「はじまりの島〜日本創世譚〜」が4月8日に配信。同じく地域を舞台にしたRPG「キズナファンタジア〜海辺の大聖典〜」を制作している宮城県石巻市と連携するなど、地域をRPGでつなぐ新たな取り組みとともに、その人気は大きな盛り上がりを見せています。

ゲームのあらすじ

前作、優秀編の物語から遡ること幾星霜(いくせいそう)、時は天地開闢(てんちがいびやく)の神代。神々の国・高天原を治める別天神(ことあまつかみ)は、果てなく広がる混沌を固めて国土とするための神器「天沼矛」を完成させたが、突如として高天原に現れた魔物たちにより、天沼矛をはじめとする数々の神器が奪われてしまう。

そこで別天神を神代七代の最後に生まれたイザナギとイザナミに、奪われた神器の奪還を命じた。魔物たちの激しい戦いの中で、イザナギとイザナミはお互いへの信頼を深め、理想的な国生みという大切な夢を描くようになる。前作の優秀編へと繋がるエピソード「0(ゼロ)の国生み神話編。魂を引き裂かれるような決別の果てに、イザナギとイザナミが進んだ未来とは。神々の勇気と愛憎の物語が、いま明らかになる。

(プレイ時間/約25~30時間、敵モンスター/一般公募を行い、島内の小学生などが考案したデザインを基に作成、ゲーム内課金有)



古代と今をつなぐ 淡路島日本遺産の6大ニュース！

7年目を迎え、文化庁から継続が認定された淡路島日本遺産。今年
は洲本市の構成文化財のガイドムービーを制作したり、島内・島外で
イベントを開催したり、多くの人に魅力を発信することができました。

淡路島日本遺産ガイド ムービーを制作！



国生みの歴史や淡路島にある弥生時代の歴史遺産を島内で暮らす人、淡路島に観光に来られた人に知ってもらいたいと、各市の文化財担当が登場し、歴史の魅力を解説するガイドムービー。今年には洲本市の金田さん、巖島神社の浦上司が登壇します。



ひょうご日本遺産フォーラム 開催！

県立兵庫津ミュージアム「ひょうごはじまり館」開館に併せて、県内の日本遺産認定地域が集まり「日本遺産を活かした地域の振興と連携」をテーマにパネルディスカッション。淡路島日本遺産委員会からは、伊弉諾神宮の本名佑至権禰宜が登壇。今までの取組みや、今後の展望について活発に討議されました。



「淡路島日本遺産フォトラリー」が開催されます！

淡路島日本遺産の魅力や弥生時代の遺跡の奥深さに触れてもらうため、小・中学生を対象として、島内の構成文化財を巡るARスタンプラリーが、令和5年4月からスタートします。現地に足を運ぶことで、国生みの歴史や弥生時代の暮らしなど、学べることがいっぱい！スマホを片手に、お出かけしよう！



注目ポイント！

フォトラリーの開催場所は、全9ヶ所。淡路市では、「五斗長垣内遺跡、絵島、貴船神社遺跡」、洲本市では、「岡の谷一号墳、旧城内遺跡（淡路文化史料館）、先山千光寺」、南あわじ市では、「松帆銅鐸（玉青館）、鳴門海峡とうずしお、沼島」。

地方創生RPG共同イベント、 淡路島で開催！



地方創生RPG共同イベントとして、淡路島日本遺産RPG「はじまりの島」と、同じく地域を舞台にした宮城県石巻市「キズナファンタジー海辺の大聖典」が連携し、令和4年4月23日（土）～24日（日）、淡路ファームパークイングランドの丘にてPRイベントを開催。淡路島と石巻市の珍しいコラボということで、抽選会やステージイベント、市ごとの取り組みのパネル展に多くの来場者が集まりました。

注目ポイント！

石ノ森章太郎先生のマンガミュージアムである石ノ森萬画館を中心に「マンガを活かした街づくり」を進めてきた石巻市。このRPGは、石巻西高等学校の生徒の皆さんが、街おこしのアイデアとして提案。令和3年に、誕生しました。

日本遺産フェスティバル in 関門開催！



全国の日本遺産に認定されている地域が集まり、来場者へさまざまな魅力を発信する「日本遺産サミット」。今年には、令和4年10月29日（土）～30日（日）に、山口県下関市・福岡県北九州市にて開催。国の日本遺産に認定されている自治体が一堂に介し、38,000人が来場しました。

注目ポイント！

淡路島日本遺産ブースでは、パネル展示やパンフレット配布のほか、銅鐸レプリカ・板状鉄斧レプリカ（五斗長垣内遺跡出土品）の展示。中でも、下関市の来場者の皆さんから集中していたのは、日本遺産関連グッズ・まるご玉ねぎの販売でした。

淡路島日本遺産、文化庁 から認定継続！

令和4年7月に発表された「日本遺産」の候補地域の認定審査及び総括評価・継続審査の中で、平成28年に認定された文化庁「日本遺産」19件のうち、認定継続16件の中に淡路島日本遺産も選ばれました。国生みの物語や海人の活躍を発信することの大切さを、文化庁も応援。7年目を迎えた淡路島日本遺産も、さらに活動を広げてまいります。



注目ポイント！

淡路市の舟木遺跡の国史跡への認定。さらに、対面生活が戻ってくる中でイベントを再開できたり、サポータークラブの活動が広がったり。「国生み」「海人」への理解を深めてくださる方が増えているというのが評価のポイントでした。

活動報告 Report

サポータークラブが観光ガイド研修を実施！

淡路島遺産のストーリーや文化財の魅力を伝えるため、さらに淡路島への観光客だけでなく、島内で暮らす多くの人々にも発信を担っていく「サポータークラブ」。メンバーをさらに増やし、より深い知識も学んでいくべく、令和4年度は2回の研修を開催。7月には、今年7体が勢ぞろいした松帆銅鐸について、南あわじ市滝川記念美術館 玉青館にて、埋蔵文化財調査事務所の定松さんを講師として、「日本最古級の「松帆銅鐸」 ナゼ淡路島が「古事記」の冒頭に記されたのか？その謎に迫る」と題したお話をお聞きしました。12月には、パソナグループが平成29年に設立した、情熱を持った次世代が集う

グローバル・コミュニティ「淡路コース・フェデレーション」から海外から淡路島に滞在する8名が参加し、伊弉諾神宮にて「外国人は淡路島の魅力をどう感じる？」をテーマにさまざまな学びを深めました。

●サポータークラブの活動紹介

淡路島日本遺産をもっと深く知りたい！歴史好きの人たちとつながりたい！など、幅広い方々が集まるサポータークラブでは、年に数回の勉強会・交流会を開催しています。クラブへの参加申込みは、一般社団法人淡路島観光協会（TEL：0799-22-0742）まで、お問い合わせください。

第1回 日本最古級の「松帆銅鐸」ナゼ淡路島が「古事記」の冒頭に記されたのか？その謎に迫る

日時：令和4年7月20日（水）13:30～15:00

場所：南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

参加者数：14名（サポータークラブ会員7名、宿泊・観光施設従業員4名、国生みの里ボランティアガイド3名）



第2回 外国人は淡路島の魅力をどう感じる？

日時：令和4年12月15日（木）

場所：伊弉諾神宮

参加者数：8名（淡路コースフェデレーション）



ニュース News 淡路島日本遺産がいろいろな メディアで紹介されています！

在宅自粛が収まる中で、「そろそろ、旅行に出かけたい！」という熱が高まっています。今年度も淡路島日本遺産が、ラジオや雑誌でたくさん取り上げられ、全国の旅行者に情報が届けられました。



歴史人
株式会社 三栄 / 令和5年3月6日発売

歴史カテゴリー雑誌「歴史人」に、淡路島日本遺産の広告が大きく取り上げられました。また、インフォメーション枠には、構成文化財を所蔵している施設の情報も掲載予定。淡路島の歴史トラベルを考えている方は、参考になる情報がいっぱいです。



家庭画報
世界文化社 / 2023年1月号

質の高い衣食住や伝統文化、話題人、旅の情報を発信する「家庭画報」の令和5年1月号（令和12月1日発売）にて、「古事記ゆかりの神社巡り特集」が8ページも掲載。国生みの地として、伊弉諾神宮、絵島等の構成文化財が紹介されました。

ラジオ日本「イゴナマ」 特別番組「おいでよ！淡路島！！」 を放送

ラジオ日本の「よしもと囲碁将棋バラエティーイゴナマ」内で、特別番組「おいでよ！淡路島！！」を放送。令和4年7月4日（月）～10月3日（月）の中の14回も、首都圏のリリスナーに向け、淡路島の歴史や観光についてPRをしました。

イベント情報

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

656-0314 兵庫県南あわじ市松帆西路1137-1 電話：0799-36-2314

南あわじの弥生ムラ展 4月1日（土）～6月25日（日）

令和4年度 南あわじ市
新指定文化財お披露目展 4月25日（火）～5月28日（日）

五斗長垣内遺跡

656-1601 兵庫県淡路市黒谷1395-3 電話：0799-70-4217

わたしたちが選ぶ土器！と展
令和6年
1月24日（火）～1月21日（日）

淡路文化史料館

656-0024 兵庫県洲本市山手1丁目1-27 電話：0799-24-3331

銅鐸・銅鏡鑄造体験

毎週土・日曜日 ※前日までに要予約